

プロジェクトX シリーズ

品目	品番	題名	時間(分)	内容
単品	13 - 01	プロジェクト 巨大台風から日本を守れ ～富士山頂・ 男たちは命をかけた～	43	「ご加護をいただいたすべてに感謝して『ありがとう』と3回くらい叫びました。大声で。」 神田 真三 (元ヘリコプターパイロット)
単品	13 - 02	プロジェクト 友の死を越えて ～青函トンネル・ 24年の大工事～	43	「おい、みんな北海道に行くぞ、ここが約束した北海道だぞ」 大谷 豊二(元日本鉄道公団 竜飛基地総司令)
単品	13 - 03	プロジェクト 厳冬 黒四ダムに挑む ～断崖絶壁の輸送作戦～	43	「黒部に来て、碑に刻まれた犠牲者の名前を見ては思い出します。この仕事はねえ、やらなきゃいかんという気持ちだけ。この人たちもみんなそう思ってくれていたはず。このダムができたのは、そう思って働き、なくなっていった人たちのおかげなんですよ。」 中村 精 (元間組 黒四ダム現場総監督)
単品	13 - 04	プロジェクト 東京タワー 恋人たちの戦い ～世界一のテレビ塔建設 333Mの難工事～	43	「愛でしょうね、仕事に対する。お金とか名誉とかってのは、あんまり考えないですよ、われわれは。」 桐生 五郎
単品	13 - 05	プロジェクト ツッパリ生徒と泣き虫先生 ～伏見工業ラグビー部・ 日本一への挑戦～	43	「オール・フォー・ワン、ワン・フォー・オール。一人がみんなのために、みんなが一人のために。それがラグビーだ。」 山口 良治
単品	13 - 06	プロジェクト 男たちの不屈のドラマ 瀬戸大橋 ～世紀の難工事に挑む～	43	「偉大なる人生とはどんな人生をいうのか、瀬戸大橋を造るよりはるかに難しい問題です。」 杉田 秀夫
単品	13 - 07	プロジェクト 液晶 執念の対決 ～瀬戸際のリーダー ・大勝負～	43	「一生懸命、研究して、成果出して…。みんな幸福になって欲しいですからね。」 和田 富夫
単品	13 - 08	プロジェクト 霞ヶ関ビル 超高層への果てなき戦い ～地震列島 日本の革命技術～	43	「地震に打ち勝つ建築技術を生み出し、マンハッタンに負けない都市をつくりたい。そのために残りの人生を懸けたい。」 二階 盛
単品	13 - 09	プロジェクト 逆転、田舎工場世界を制す ～クォーツ・革命の腕時計～	43	「どこよりも正確な時計を作って見返そう。見せかけではなく、本物を作るんだ。」 山崎 久夫

品目	品番	題名	時間 (分)	内容
単品	13 - 10	プロジェクト 魔法のラーメン 82 億食の奇跡 ～カップめん・ ドン底からの逆転劇～	43	「要するに度胸ひとつです。やってみようということで ね」 秋山 晃久
単品	13 - 11	プロジェクト ゆけチャンピイ 奇跡の犬 ～日本初の盲導犬・ 愛の物語～	43	「『心』というものを、たいへん大事に思います。犬ばかりでなく、人間でもそうだと思います。」 塩屋 賢一
単品	13 - 12	プロジェクト 国産コンピュータ ゼロからの大逆転 ～日本技術界伝説のドラマ～	43	「挑戦者に『無理』という言葉はないんだ」 池田 敏雄
単品	13 - 13	プロジェクト 運命の Z 計画 ～世界一売れた スポーツカー伝説～	43	「私の理想をかなえてくれた ひとつのクルマですよ」 片山 豊
単品	13 - 14	プロジェクト わが友よ 病床からのキックオフ ～J リーグ誕生 知られざるドラマ～	43	「耐えて 夢を追う」 木之本 興三
単品	13 - 15	プロジェクト 制覇せよ世界最高峰レース ～マン島・オートバイに かけた若者たち～	43	「そうだと思い込んだら、しゃにむに突き進む。あいつがあそこまでやるなら、俺だって負けるか、と。」 河島 喜好
単品	13 - 16	プロジェクト 桜ロード 巨大輸送作戦	43	「前代未聞のことに挑んでいるんだ。常識など、意味がない。」 丹羽 政光
単品	13 - 17	プロジェクト 男たちの復活戦 デジタルカメラにかける	43	「楽しくてしょうがないです。これがモノ作りだと思います。」 末高 弘之
単品	13 - 18	プロジェクト 幸せの鳥トキ 執念の誕生	43	「やって良かった。継続してよかった。」 近辻 宏帰
単品	13 - 19	プロジェクト 家電元年最強営業マン立つ ～勝負は洗濯機～	43	「ライバルはお客様の心である。」 井植 歳男

品目	品番	題名	時間(分)	内容
単品	13 - 20	プロジェクト 救命救急 ER 誕生 ～日本初衝撃の最前線～	43	「我々には、涙を流している時間など無いんだ。なぜ死なせてしまったのか、どうして助けられなかったのか、しっかり向き合わなくてはいけないんだ。」 杉本 侃
単品	13 - 21	プロジェクト 料理人たち 炎の東京オリンピック	43	「私は死んで生まれてきたら、またコックになります。やっぱり仕事が好きですね。」 村上 信夫
単品	13 - 22	プロジェクト レーザー 光のメスで命を救え ～倒産工場と脳外科の闘い	43	「医療というのは 良かれ と思うことに無限の努力をすることです。」 滝澤 利明
単品	13 - 23	プロジェクト 謎のマスク 三億円犯人を追い ～鑑識課指紋係・ 執念の大捜査～	43	「熱き心でやれば全てうまくいく。それを信じるしかない。」 塚本 宇平
単品	13 - 24	プロジェクト アンコールワットに誓う 師弟の絆	43	「仕事はよくできて当たり前、失敗したら命取り、そういうふうに分で自分に言い聞かせるような男にならなければだめなんですよ。」 小杉 孝行
単品	13 - 25	プロジェクト 王が眠る神秘の遺跡 ～父と息子・執念の 吉野ケ里～	43	「少し掘れば、これほどの土器が出る。皆のふるさとはすごい場所なんだ。」 七田 忠志
単品	13 - 26	プロジェクト 炎を見る 赤き城の伝説 ～首里城・執念の親子瓦～	43	「向こうから我々に挑戦してきたんだと思うんですね。『寸法記』の世界までチャレンジしてみると。」 高良 倉吉
単品	13 - 27	プロジェクト 決断 命の一滴 ～白血病・日本初の 骨髄バンク～	43	「皆、元気になりますように。あのつらい体験は、もう誰にもしてほしくない・・・」 大谷 貴子
単品	13 - 28	プロジェクト 特集 あさま山荘 衝撃の鉄球作戦	43	連合赤軍が山荘の管理人夫人を人質にたてこもった「あさま山荘事件」。動員された警察官は、延べ 3 万 5 千人。犯人から激しい銃弾が打ち込まれた。10 日間・219 時間に及ぶ攻防は、日本犯罪史上、最長の人質救出劇となった。
単品	13 - 29	プロジェクト 耳を澄ませ 赤ちゃんの声 ～伝説のパルモア病院 誕生～	43	「長い間、見捨てられたきた赤ちゃんの医療に新たな一歩を踏み出したい。皆の力をください。」 三宅 廉

品目	品番	題名	時間(分)	内容
単品	13 - 30	プロジェクト 日本初のマイカー てんとう虫 町をゆく ～家族たちの自動車革命	43	「技術の前には、上司も部下もない。 俺にアイデアをぶっつける。」 百瀬 晋六
単品	13 - 31	プロジェクト 炎上 男たちは飛び込んだ ～ホテルニュージャパン 伝説の消防士たち～	43	「このまま人を見殺しにしたら、あと何百人何十人の人 を助けても自分としては見て見ぬふりをしたという悔い が残る…。」 高野 甲子雄
単品	13 - 32	プロジェクト 通勤ラッシュを退治せよ ～世界初自動改札機誕生	43	「どんな小さな妥協も、私たちの都合のためには、許さ ない。」 田中 寿雄
単品	13 - 33	プロジェクト 絶対絶命 650人決死の脱 出劇 ～土石流と闘った8時間～	43	「警察官なら誰でもやる行動だと思うんですよ。でもそ れを実行した父は偉いんじゃないかな、と思います。」 有村 健作(有村新市氏の長男)
単品	13 - 34	プロジェクト 炎のアラビア 一発必中油をあてる (2回シリーズ前編)	43	「これこそ、俺たちの力を示す絶好のチャンスだ。やろ う。」 山内 肇
単品	13 - 35	プロジェクト 起死回生 アラビアの友よ ～巨大油田に挑んだ 技術者たち～ (2回シリーズ 後編)	43	「一つの場所で、一つの土俵でお互いの本音で話し 合えば、国と国との違いは障害にならない。」 細井 弘
単品	13 - 36	プロジェクト 妻へ贈ったダイニングキッチン ～勝負は一坪 住宅革命の秘密～	43	「狭い住宅しか供給できない自分が、大きな家には住 めない。」 尚 明
単品	13 - 37	プロジェクト よみがえれ、日本海 ～ナホトカ号重油流出 30万人の奇跡～	43	「自分の宝物でも拭くような、そんな形で拭いては海へ 放ってくれる。きれいにしてね。ホンともう嬉しくて涙が 出たですな。」 間海 吉春
単品	13 - 38	プロジェクト 町工場 世界へ翔ぶ ～トランジスタラジオ 営業マンたちの闘い～	43	「北極でもうまい氷なら売れる。それをやるのが営業マ ンだ。」 小松 万豊
単品	13 - 39	プロジェクト 奇跡の心臓手術に挑む ～天才外科医の秘めた決意	43	「医者というのは、患者のためにいるわけで、医者とし ての地位や名誉などどうでもいいことです。大切な のは、医者が患者から見捨てられないようにすること です。」 須磨 久善

品目	品番	題名	時間(分)	内容
単品	13 - 40	プロジェクト えりも岬に春を呼べ ～砂漠を森に 北の家族の半世紀～	43	「私らが漁師だからって、海のことだけ考えればいいということではなくて、山が荒れると海が荒れるんだということをおね、四十年やって本当に頭の芯からそう思うんですよね。」 飯田 常雄
単品	13 - 41	プロジェクト 運命の船「宗谷」発進 ～南極観測 日本人が結集した 880 日～ (2 回シリーズ 前編)	43	「冷静に、科学的に、合理的に、全ての任務を 尽くしてきます。」 永田 武
単品	13 - 42	プロジェクト 極寒・南極越冬隊の奇跡 ～南極観測 11 人の男たち (2 回シリーズ 後編)	43	「とにかく、やってみなはれ。やる前から諦める奴は、 一番つまらん人間だ。」 西堀 榮三郎
単品	13 - 43	プロジェクト 窓際族が世界規格を 作った ～VHS 執念の逆転劇～	43	「夢中でしたね。夢中っていうのは大変すばらしいこと だと思う。それでも神様が、私の回りにこんなにもすば らしい人たちを置いてくださったからです。ぜひ皆さん も、何でもいから夢中になってください。 高野 鎮雄(元日本ビクター VTR 事業部長)
単品	13 - 44	プロジェクト ガンを探し出せ ～完全国産 胃カメラ開発	43	「やっぱり意地ですね。ああなると。なんとかつくてや んなきゃと。職人というものは、一度引き受けたら、必 ずなんかの形にしなきゃって思いがありましたね。 丸山 政人(電球職人)
単品	13 - 45	プロジェクト 世界を驚かせた一台の車 ～名社長と闘った 若手社員たち～	43	「当時は、自分のためだけではとてもできないと思って いましたが、今にして思えばやっぱり自分のためだっ たんだなあと思うんです。やれば必ずできるんだという 自信が、その後の技術者人生を支えてくれましたから。」 石津谷 彰(元 CVCC エンジン製作リーダー)
単品	13 - 46	プロジェクト 執念が新幹線を生んだ ～老友 90 歳 飛行機が姿を変えた	43	「とにかく戦争はもうこりごりだった。だけど、自動車関 係にいけば戦車になる。船舶関係に行けば軍艦になる。 それでいろいろ考えて、平和利用しかできない鉄 道の世界に入ることにしたんです。」 三木 忠直(元鉄道技術研究者)
単品	13 - 47	プロジェクト 海底ロマン！ 深海 6500m への挑戦 ～潜水調査船 世界記録までの 25 年～	43	「こいつと毎年会うと長い航海お疲れさんと声をかけた くなるほど愛着があります。もし許されるならば生涯面 倒をみてあげたい・・・。」 前田 逸郎(元三菱重工)
単品	13 - 48	プロジェクト 翼はよみがえった 1 ～YS-11 日本初の国産旅客機	43	「これはやれるなど。それまではやれるか、やれんか、 わからんですよ。」 土井 武夫(元輸研メンバー)

品目	品番	題名	時間 (分)	内容
単品	13 - 49	プロジェクト 翼はよみがえった2 ～YS-11 運命の初飛行	43	「せめてね、10年に一度くらいでもいいから、5年に一度ならなおいい、10年に一度くらいああいうものを作ってね、人をつなげていかなきゃ。」 土井 武夫(元輸研メンバー)
単品	13 - 50	プロジェクト 運命最終テスト ～ワープロ 日本語に挑んだ若者たち	43	「今はまだ日本語の大海原に漕ぎ出したばかりだ。いつかきっと大陸が見える。」 森 健一
単品	13 - 51	プロジェクト 革命トイレ 市場を制す	43	「トイレは人の暮らしを支える尊い商品だ。誇りを持って取り組み。」 杉原 周一
単品	13 - 52	プロジェクト 突破せよ 最強特許網 新コピー機誕生	43	「ライバルは一社だけ、独自の複写機を作れば大きなチャンスです」 田中 宏
単品	13 - 53	プロジェクト 魔の山大遭難 決死の救出劇	43	「行こう。山頂で助けを待っている人がいる。」 郷 康彦
単品	13 - 54	プロジェクト 日米逆転！ ～コンビニを作った素人たち	43	「コンビニは新しい客を開拓する新しいビジネスになります。」 岩国 修一
単品	13 - 55	プロジェクト 世界最大の船 火花散る闘い	43	「現場の底力をみせてやろう。」 南崎 郁夫
単品	13 - 56	プロジェクト 衝撃のペルー 男たちは生き抜いた ～人質 127 日間のドラマ～	43	「ここを出たら、アンデス山脈に登ろう。新鮮な空気を吸うぞ。一緒に行こう。」 岩本 匡司
単品	13 - 57	プロジェクト 爆発の嵐 スエズ運河を掘れ	43	「いっても爆弾、戻っても爆弾だ。行きましょう」 水野 哲太郎
単品	13 - 58	プロジェクト 執念のテレビ 技術者魂30年の闘い	43	「自らのビジョンを持ちなさい。新しい技術には勇気をもって取り組みなさい。」 高柳 健次郎
単品	13 - 59	プロジェクト 太平洋1万キロ 決死の海底ケーブル	43	「日本の技術で太平洋を渡ろう。」 新納 康彦

